

---

JIS適合品 silverfox

jan\_jack\_jakio

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

JIS適合品 silverfox

### 【コード】

N0789BA

### 【作者名】

jan | jack | jakio

### 【あらすじ】

つまらない小説です。今すぐブラウザを消して、パソコンを三回再起動した後にシャットダウンして下さい。  
明日は晴れると良いですね。

ボクは、親切だから、ジャムおじさんのパン工場みたいに親切だから、前もって

あるところに一匹の野良犬が居ました。その犬にはかつて立派な名前と立派なお家がありました。野良犬は既にその事を殆ど覚えていません。ただ、野良犬がまだ小さくてまだ立派な名前で呼ばれていた頃、毎日おいしいご飯を貰っていた事は今も覚えています。ご飯の味は既に忘れてしまいました。幸せな時間であったことは今も覚えています。

彼は同じ所に留まるうとしませんでした。同じ所に留まり続けると、ホケンジヨと呼ばれる所から来た人間たちに連れていかれてしまうのを知っていたからです。だから、同じ街には一週間以上とどまるうとしません。たとえ、良質な飯場を見つけたとしてもそのルールを彼は固く守りました。

『僕は今日、てんとう虫と戦った。

僕はてんとう虫に蹴りを入れた。理由は無い。君が生きている理由と同じだ。てんとう虫に蹴りを入れる理由は無い。ただ事実としててんとう虫に蹴りを入れたので、医者に言われた通りここに記したまでだ。てんとう虫は、避けた。それが風圧のせいなのか、それとも彼の本能のせいなのか、良く分かりませんが、あ、今私はお腹が空いているから、てんとう虫を食べたくなくなりました、てんとう虫を唐揚げにして食べたくなりました、沢山のパン粉を塗りたくりながら、私は鼻歌を歌います。よくママが歌ってくれたカントリーソングです、ママの香水の匂いを思い出すため、ママの香水箱からママの香水を盗んで上等な油の中に一滴だけママの香水を混ぜるのです。分かりましたか？

てんとう虫は、パン粉になりませんでした。パン粉は、コロツケツケになりました。だから、てんとう虫は、ボクのパンチを避けた。

いや、キックだったかな？とにかくそういう事なんです。その後、てんとう虫が、猛スピードで、そう、ボクをよく虐めてきた唐沢くんみたいに、タツクルしてきました。唐沢くんは、プロレスが大好きで、よくボクにプロレスの技をかけてきた人の形をした天使のような悪魔のような、友達です。「さあボク選手、てんとう虫の猛攻を避けられるか！てんとう虫は減量に成功し、性交の後の気持ちよさのような晴れ晴れとした顔でこの試合に望んでおります！そのてんとう虫の猛攻！ラッシュ！ラッシュ！おっと、ボク選手、一瞬よろけるが倒れない！倒れない！すかさずてんとう虫の足蹴りがボク選手の額に決まった！！」突然だけど、あなたが好きだ。これを見たあなたが私を好きになると思うから、前もって言うておくよ。あなたが好きだ。大丈夫、あなたが好きなのをわかっているから、ボクは、親切だから、ジャムおじさんのパン工場みたいに親切だから、前もって伝えます。嫌いの反対です。

ところで、てんとう虫はお好きカネ？てんとう虫は、ヒト科ヒト目の単体生物なんだ。日本によくいるから、日本に行ったら夜通し探してみると良い。てんとう虫のダンスが見れる。てんとう虫は楽しいな、ランランラン。てんとう虫は気持ちいいな、ランランラン。そそういうわけで、ボクはてんとう虫になった、いや進化したんだ。だから、どこへでも行ける。先生のおうちにだって行けるんだよ。だから、ここから出してくれなんて言わないよ。どこへ行けるんだから。てんとう虫は、世界のチャンピオンなんだ。だから、先生、先生の娘さんに会いに行くよ。気持ち悪く思わないよう、先生の娘たんとおくとんに伝えておいてくれたまえ。」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0789ba/>

---

JIS適合品 silverfox

2012年1月1日21時54分発行